

## 特集 明治時代地引絵図と取調野帳

明治政府が行った土地制度と税制度の大きな変革が地租改正で、土地の私的所有を認め、課税をそれまでの収穫高から地価に改めました。土地所有者が納税者となり、物納から金納に変わり、地価の3%が税率となりました。地租改正は、明治6年(1873)7月に「地租改正条例」が發布され、明治14年(1881)までに終了したとされています。

そのために行われたのが土地の測量と所有者の確定および地価の算定でした。この事業は県の指導のもとに村ごとに行われ、神奈川県に属していた当時の東久留米市域の9村(神奈川県第十一大区五小区と六小区)で作成された『地引絵図』全図9点と字ごとの切図78点が現存しており、市指定有形文化財として郷土資料室に保管されています。

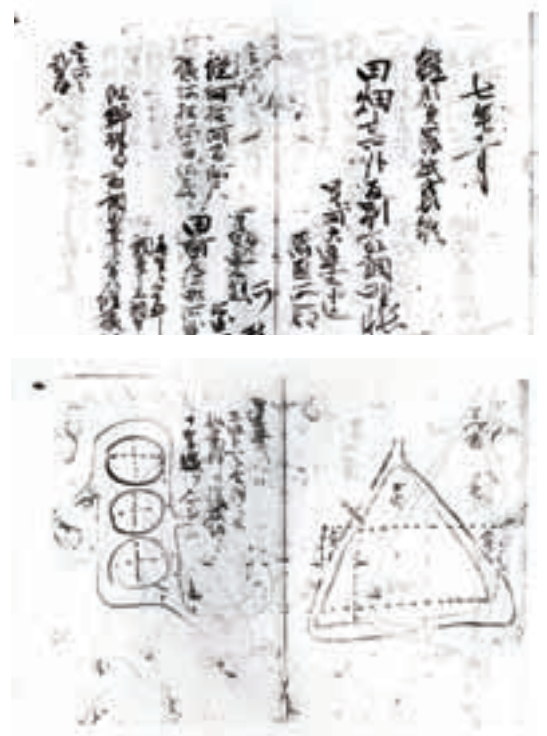
これまで、地図と一緒に作成された所有者や面積を記録した帳簿(神奈川県では『取調野帳(のちょう)』と呼ばれました)の存在が不明でしたが、郷土資料室が所管する歴史的古文書のなかからその大部分が確認されました。現市域を構成する全ての旧村(9ヶ村・新田)の『地引絵図』と『取調野帳』がそろっているのは全国的にも稀で、大変貴重な例といえます。



『明治時代地引絵図』と『取調野帳』(旧前沢村)

村	全図	切り図	全図大きさcm	取調野帳
神山	1	10	407*233	2
門前	1	4	223*160	1
小山	1	12	312*191	1
落合	1	6	273*188	1
南沢	1	18	430*360	2
下里	1	12	394*294	2
前沢	1	9	372*270	2
柳窪	1	3	232*204	1
柳窪新田	1	4	258*205	1
栗原新田	—	—	—	1
合計	9	78	約 1/600	14

東久留米市域の現存する地引絵図と取調野帳数



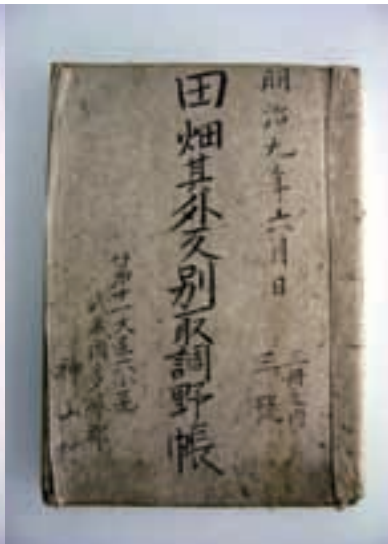
『小山村公用留』(部分)

今回確認された『取調野帳』は神山村2冊、門前村1冊、小山村1冊、落合村1冊、南沢村2冊、下里村2冊、前沢村2冊、柳窪村1冊、柳窪新田1冊、栗原新田1冊の14冊です。記載内容や前後関係、他の関連文書からみて5冊が欠落しているようで、今後さらに調査を進めたいと考えています。1冊の大きさは、縦28.6cm、横21cmで、厚さは約0.5～5cmほどです。

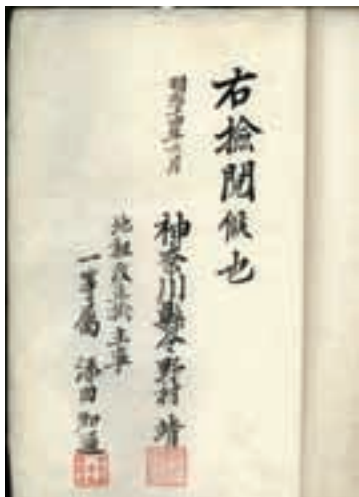
『地引絵図』と『取調野帳』については、測量方法や野帳の雛形をはじめとする細かい作成要領が明治7年12月4日付で神奈川県地租改正掛から村々に回達されており、当市でも『小山村公用留』(市史文書：小山村・Y・1・17)などにみることができます(写真上)。測量は原則として十字縄方式で行われ、野帳はほぼその雛形に即して作成されています。野帳の表紙には中央に「田畑其外反別取調野帳」、左下に大区・小区・国郡・村名が記されています。柳窪村と柳窪新田が「畑其外段別取調野帳」となっており、水田のなかったことを反映しています。また、地引絵図の現存しない栗原新田のものは「林段別取調野簿」となっているのが特徴です。その他、表題の右に作成年月日・所載の字名・冊を記載したものや表題の下部に壺や甲という内訳の記載されたものもあります。用紙は美濃紙という指定で、右の2箇所を紙縫りで縦に通して結び、袋綴じに製本されているのが分かります。

内容は、字名・地番・縦の長さ・横の長さ・土地の種別・面積・所有者(印)が記載され、最後に村の種別(田畑他)ごとの面積が集計されています。

提出は明治9年5月または6月で、村総代・代議人・村用掛・副戸長・戸長の署名捺印がされています。差し出し先は神奈川県令野村靖宛で、最後に県令と地租改正掛主事の明治14年6月の検閲・署名捺印がみられます。



『取調野帳』（上段左から「落合村」「神山村」「門前村」、中段左から「小山村」「南沢村」「下里村」、下段左から「柳窪村」「柳窪新田」「栗原新田」）



神奈川県の見閲年月と署名・印

これらの『取調野帳』は神奈川県に提出された後に戸長役場に戻され、その後明治22年に久留米村が成立した時に地図とともに公文書として村役場に保管されたようです。この他に関連する資料としては、実際の測量時に事前に準備され、朱書きで修正が加えられている『地租改正取調帳』（明治8年、市史文書：小山・Y・13・127）や地価の算定に使用された帳簿、地券（土地所有者に交付された権利書）の原簿である『地券台帳』、その後の土地基本原簿となる『土地台帳』などさまざまなものが確認されており、それらの総合的な調査研究が今後の課題です。

『取調野帳』については、現在、修復と詳細な調査を行っており、後日あらためて正式な報告をしたいと考えています。

**参考文献：**犬井正『明治時代各村地引絵図』（Ⅰ～Ⅲ）東久留米市教育委員会 1976、佐藤甚次郎『神奈川県の明治期地籍図』暁印書館 1993 など。なお、地引絵図に関しては、かつて佐藤甚次郎氏より種々のご教示をいただき、前出の書籍の中にも掲載していただいていることを付記します。また、『明治時代各村地引絵図』Ⅰ～Ⅲのカラー復刻版を出版している他、「くるめの文化財」第20号でも特集していますのでご利用ください。

本文監修：岡田芳朗（女子美術大学名誉教授）・山崎 丈（郷土資料室）



## 郷土資料室の展示が完成



2007年8月から展示室、展示コーナーが公開されています。  
旧石器時代から縄文時代の出土遺物（土器・石器）や小麦作りの道具などの民具、昔の久留米の写真などが展示されています。



日曜・祝日を除く9時から4時30分

編集

東久留米市郷土資料室  
(教育委員会生涯学習課文化財係)

〒203-0033

東京都東久留米市滝山 4-3-14 わくわく健康プラザ内  
電話 042-472-0051 FAX 042-472-0057